

JAPIC NEWS

5

2012 | No.337

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC**
Japan Pharmaceutical Information Center

Contents

■巻頭言

「自分自身で気付いていなかった“日本のすばらしさ”」

鳥居薬品株式会社 専務取締役 JAPIC監事 籠橋 雄二 …… 2

■インフォメーション

発行しました!!

「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版2012年4月版」 …… 4

「JAPIC OTC医薬品CD-ROM 2012年4月版」 …… 4

「医薬品製造承認品目一覧」2012年版 …… 4

「JAPIC Pharma Report海外医薬情報」2011(年間索引) …… 4

5月発刊!! 『病名適応医薬品集-標準病名から承認薬がわかる本-』2012 …… 5

承認品目全データの提供 …… 6

「JAPIC AERS」スポットサービスを開始 …… 6

平成24年度JAPIC主催 講演会等 開催予定 …… 6

■トピックス

「理事会」「評議員会」の概要報告 …… 7

新潟薬科大学でのiyakuSearch検索実習を終えて …… 7

JAPICサービスの紹介

JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版CD-ROM …… 8

■コラム

最近の話題「地域医療情報研究開発機構(CHIRD)の活動」

岐阜大学大学院 医学系研究科 医療情報学分野 教授 紀ノ定 保臣 …… 10

会員の声「余暇と明日のエネルギー」 トーアエイヨー株式会社 経営企画部 角田 範子 …… 12

JAPIC新入職員紹介 …… 13

外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より(抜粋) …… 14

■図書館だよりNo.263 ■情報提供一覧 …… 15

自分自身で気付いていなかった “日本のすばらしさ”

鳥居薬品株式会社 専務取締役 JAPIC監事
竈橋 雄二 (Kagohashi Yuji)



昨年3月末に欧州の某社と彼の地で会議を持った時に、「3月11日の東日本大震災における日本人の対応には尊敬の念を抱きます」との言葉を頂きました。海外の方々のこのような反応は、しばしば報道でも目にしておりますし、本誌をご覧頂いている会員の皆さまの中にも同様な経験をされた方がいらっしゃると思います。しかし多くの日本人同様、私自身にとっては「何か特別なことが起こった」という感覚は全く無く、「やはり被災者の皆さんは常識を持って行動された（確かに素晴らしいことです）」という安心感とともに違和感なく報道を見ておりました。

また、福島県三春町の福聚寺の玄侑宗久ご住職（芥川賞受賞でも有名）が震災関連の報道番組で「一万の方々の死に甲斐」をどう想うべきなのか？というお話をされ、私も亡くなられた方々への生者としてなすべき報いを考えさせられました。この番組をご覧になられた多くの日本人は、自然に、そして素直に同様な想いを抱かれたことと思います。

海外の方々と話をしていると、こういった性善説を前提とした（亡くなられた方々も含めた）人との繋がりや、死者と生者の繋がり、そして“無常”という概念をベースに持つ自然との調和感など、日本人が持っている“無意識の認識”は、非常にユニークなものなのだとことに気付かされます。勿論、世界中にこういった価値観を共有できる方々は多くいらっしゃいますが、“国民性”という広範な意味では、やはり非常にユニークなのだと思います。

「日本はユニークであるが故に学びたい」という米国学生が多いという話を耳にされたことがありますでしょうか。私の学生時代には、日本の学生さん達は米国へ留

学するというのが主流で、逆に米国から日本へ留学する学生さんは非常に少なかったと記憶しています。

その後就職し、人事部で採用の仕事をした時に調べてみたところ、日本へ来る留学生は中国を中心としたアジア諸国からが圧倒的に多く、欧米諸国からの留学生は極めて少ないというデータを目にしました。この時、すなおに“納得”したのですが、結局、戦後の米国追従精神の残渣が心のどこかにあり、「音楽も」「ジーンズも」「日本の産業界も米国に学んでいるのだから」という意識のもと、日本に学ぼうとする米国人学生などないのが当たり前、という無意識の認識があったのだと思います。この認識は長年にわたり変わることなく、私の中にありました。

ところが、つい先日お会いした米国ライス大学の某教授（日本人です）から「何を言っているのですか、ライス大学の学生は非常に優秀で、彼らは“日本はユニークな社会であり、素晴らしいものをつくり、次々と世界に出している。留学先として一番行きたいのは日本だ”と言っているのですよ」というお話を伺い「え？」と驚いてしまいました。

振り返れば、日本料理はそんな日本人が生み出したユニークな文化の一つなのでしょう。私は小学生の頃からNHKの『今日の料理』という番組が好きで、日本料理の辻嘉一先生や、フレンチの村上信夫先生のファンでした。そんな番組で学んだのですが、日本料理というのは世界に類を見ない豊かな自然を「頂く」為に磨かれた文化であるということです。五味五色と言いますが、自然の中にある「甘み、辛み、酸味、塩味、苦み」の五味と、「赤、緑、白、黄、黒」の五色を美味しく頂くことで、自然を感じ味わい感動し感謝する為の料理が日本料理なのです。これもただ素材を出されても「美味しい」と感じることはなか

なか難しいですし、中には加熱しないとお腹を壊してしまうものもあります。そこで五法という調理法「煮る、焼く、蒸す、揚げる、生の食感を活かす」を使って素材の持ち味を引き出して「美味しい」と感じさせてくれるのです。実にユニークで世界に誇れる日本の食文化だと思いませんか。

そのような認識で日本料理を前にし、食させて頂くと、「その地域の」「その季節の」自然を目でも舌でも鼻でもしっかりと味わうことが出来ます。しかし、うっかり仕事の話に夢中になってしまい、お皿の盛りつけがその地域の山間を表現していることを楽しむことや、魚の皮の香ばしさと白身のふっくらした食感など、料理人が届けてくれた折角の自然の味わいを感じることをすっかり忘れてしまうことがあります。お料理を前にしたら仕事の話は忘れたいものです。特に日本料理は。

私も時々ですが、海外からのお客様と日本料理をご一緒します。そんな時には、お客様にもシッカリと味わって頂きたいと、日本料理の文化について生意気にも解説をします。日本の文化を目と舌と鼻から感じて頂きたいですし、その結果として日本に対して興味を持つと同時に Respectして頂けたら、とも思っているのです。

時には話が日本料理から新渡戸稲造の『武士道』にも発展したりすることもあります。ある欧州からのお客様が「武士道は読みたいが日本語は読めない」とおっしゃるので「武士道の原著は英語ですよ」とお話ししましたら驚かされていました。是非お読み下さいと勧めるのですが、振り返ると『武士道』を読まれている日本人は多くないようで、少々寂しくも思います。私は決して読書家ではありませんが、Global Communicationをそれなりに取るには『武士道』に書かれている精神構造や、『論語』をベースとしたBusinessの考え方など、日本の歴史・文化に根ざした独特の論理・価値観はとても役立つものだと感じています。勿論、NPV (net present value)、ROI (return on investment) などの共通言語があつてのことですが。

話はまた飛びますが、この製薬業界でも不思議な“日本のユニークさ”に出会います。

10年以上も前のことですが、ある世界的な海外製薬企業と一緒に仕事をした際に、同じ原薬の品質を国際的に比較したデータを見せてもらったことがあります。数社あった日本企業のDeviation Rateが他国のものと比較して『桁違い』に低く、品質的にもダントツの位置にありました。その一方で、FDA査察対応は逆で日本の製薬企業はコンサルタントの力を借りて苦勞して査察用資料を整えなければならないし、質問に対する回答もなかなか

理解してもらえないという状態でした。(今は当時とは違うのでしょうか。)

私も製造業の現場に身を置いていたことがありますので感覚的に分かるのですが、日本の『ものづくり』『品質づくり』の考え方と欧米のそれとはどうも根本的な違いがありそうです。この辺りのユニークさが、“ライス大の学生が日本に留学したがる”理由なのかも知れません。

ただ、このユニークな『ものづくり』の学び方はどうも容易ではなさそうです。

海外メーカーでも流行っているTPS (TOYOTA Production System) をセミナーで学んだという某国の工場長と話をしている気付いたのですが、彼らはトヨタ生産“システム”を工学的に学ぼうとしており、生産現場の“文化”という部分を学ぶ対象としていませんでした。

そこで私は「あなたたちの概念は“自動”」であり「トヨタの概念は“自動”」であり、『動』と『働』に根本的な違いがあると説明しましたが、分かったような、分からないような曖昧な反応が返ってくるばかり。案の定、理解し難かったようで、その後のアクションはありませんでした。

特に『働』のイ(にんべん)部分が重要で「人が自ら働き」「全体を人がコントロールする」という意図なのだという重要な部分は、言葉での理解は無理なようでしたので、日本から人を送り現場に入ってもらい、現場の人達と現物の改善を通して肌で理解してもらうことにしました。結果は不良率の大幅改善です。ただ実際に『働』の一端を理解したのは一緒に改善をした現場の人達だけだったようです。

どうも日本の『ものづくり文化』は、工学的に分析し難く欧米的文化から見ると“非常にユニーク”なものようです。

こんなことを考えてきた私は、「cGMPに代わる日本文化に根ざしたJ-GMP (Japanese GMP) を創ろうよ」と言っているのですが、いかんせん、工学的に分析し難いだけにProcedureにすること自体が一筋縄ではいかないようです。本誌をご覧頂いている多くの会員の皆さまの中でどなたか、共感される方がいらっしゃいましたら、是非チャレンジして頂きたいと思っています。その方には素晴らしい日本料理を沢山経験して頂きたいものですが、そのような将来有望な方にはきっと上司の方がご馳走してくれるものと期待をして巻頭言の結びとさせていただきます。

発行しました!!

「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版2012年4月版」

- ◇医療用および一般用医薬品の添付文書情報（2012年3月までのJAPIC入手分）を収録したWindows対応CD-ROM。2012年4月1日付薬価改定（医療用）及びリスク区分変更（一般用薬）に対応
- ◇医療用医薬品データの検索・表示・印刷・テキストデータ出力が可能
- ◇今回版より、先発品等／後発品の区別検索・csv形式でのデータ出力・一般用薬添付文書PDFの表示などの機能を追加しました！
- ◇本号のトピックスにて、更に詳しくご紹介しております（本誌8ページ参照）
- ◇単品で15,000円（税込） 年間セット4枚（4月・7月・10月・1月）で25,000円（税込）



「JAPIC OTC医薬品CD-ROM 2012年4月版」

- ◇一般用医薬品（一部の医薬部外品含む）の添付文書記載情報（2012年3月までのJAPIC入手分）を収録したWindows対応CD-ROM
- ◇一般用医薬品データの検索・表示・印刷・テキストデータ出力が可能
- ◇検索項目は、成分名、添加物、リスク区分や小児に使える医薬品等
- ◇生薬成分のリスク区分変更を反映（2012年4月から適用）
- ◇3,150円（税込）／単回



「医薬品製造承認品目一覧」2012年版

JAPICでは、厚生労働省から日本製薬団体連合会を通じて医薬品の製造承認資料を入手し、JAPICデータベース「SHOUNIN（ショウニン）」（更新月1回）でご提供しており、更に1年分をまとめて「医薬品製造承認品目一覧」（1986年創刊）を作成しております。

この度、厚生労働大臣の承認に係る医薬品（2011年1月から12月までの承認分）を掲載した2012年版を発行致しました。編集内容は、ご利用いただきやすいよう医療用、一般用別に、それぞれ商品名の五十音順で配列しております。

- ◇会員 10,500円／1部 ◇非会員 21,000円／1部
- 購入ご希望の方は、FAXにて業務・渉外担当までお申し込み下さい。FAX:0120-181-461

「JAPIC Pharma Report海外医薬情報」2011（年間索引）

海外の医薬情報を収載する冊子「JAPIC Pharma Report海外医薬情報」の年間索引は、2010年版より、検索に便利な電子データで提供（購読者無料）いたしております。

本索引は、医薬品名から検索することを中心に、具体的な医薬品名のない場合は薬効分類名等から検索できるようにし、その他のキーワードをいくつか選出し収載しております。「JAPIC Pharma Report海外医薬情報」2011年版の年間索引をご希望の方は、下記にお問合せください。

- ◇収載範囲 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報」2011年1月～12月号
- ◇データ形式：PDF ◆提供（送付）方法：電子メール

〈お問合せ先〉 JAPIC事業部門 医薬文献情報担当（海外） TEL:03-5466-1824 e-mail:japic-kaigai@japic.or.jp

5月発刊!!

『病名適応医薬品集—標準病名から承認薬がわかる本—』2012

2008年8月に初版を発刊して以来、改訂版が欲しいとのご要望を多くいただいております。ご利用の皆様方からのご意見ご批判を参考に大幅にリニューアルし、発刊します。

《本書の特長》

- ・医療用医薬品添付文書の効能効果と完全ないし、ほぼ完全一致する標準病名について、医薬品と関連付けたもので、標準病名から厚生労働大臣による承認された医薬品を選択することができます。
- ・慣用病名についてはそれぞれに対応する標準病名を掲載しています。
- ・医師により診断された病名が、厚生労働省や社会保険診療報酬支払基金などが推奨している標準病名（レセプト記載病名）ではどのようになっているのか確認することができます。
- ・標準病名ごとに「JAPIC・ATC分類」や「一般名」を付記しており、処方された医薬品の効能効果との関連性について確認ができ、妥当かどうか判断する目安となります。
- ・先発品と同じ効能効果を持つ後発品などが確認できる「一般名別商品名リスト」も巻末に収録。製造販売会社名、規格単位、薬価も掲載しています。



◆価格：定価7,770円（税込）・B5判 約1,200ページ
 〈お問合せ先：事務局 業務・渉外担当 TEL：0120-181-276〉

〈本文イメージ〉

| 標準病名 | JAPIC・ATC分類 | 一般名 | 商品名と関連する効能効果 | |
|---|-------------------------|------------------|---|--|
| 骨原性肉腫 ⇨ 骨肉腫 | | | | |
| 骨腫瘍 【レセ電算コード：2392047】 【ICD10コード：D480】 | アルキル化剤／ナイトロジェンマスタードアナログ | シクロホスファミド水和物 | ④ エンドキサン錠 50mg ④ 注射用エンドキサン 100mg、注射用 500mg | 骨腫瘍の自覚的並びに他覚的症状 |
| 骨髄異形成 ⇨ 骨髄異形成症候群 | | | | |
| 骨髄異形成症候群 【レセ電算コード：2899010】 【ICD10コード：D469】 | アルキル化剤／ナイトロジェンマスタードアナログ | シクロホスファミド水和物 | ④ 注射用エンドキサン 100mg、注射用 500mg | 急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、重症再生不良性貧血、悪性リンパ腫、遺伝性疾患（免疫不全、先天性代謝障害及び先天性血液疾患：Fanconi貧血、Wiskott-Aldrich症候群、Hunter病等）における造血幹細胞移植の前治療 |
| | たん白同化ステロイド剤／アンドロスタン誘導体 | メテノロン | ④ プリモボラン錠 5mg | ④ 適応外使用 原則として、「酢酸メテノロン【内服薬】」を「骨髄異形成症候群及び骨髄線維症における貧血改善」に対して処方した場合、当該使用事例を審査上認める |
| | 代謝拮抗剤／ピリミジンアナログ | アザシチジン | ④ ビターザ注射用 100mg | 骨髄異形成症候群 |
| | | シタラビンオクホスファート水和物 | ④ スタラシドカプセル 50、カプセル 100 | 骨髄異形成症候群 (Myelodysplastic Syndrome) |
| | 代謝拮抗剤／プリンアナログ | フルダラビンリン酸エステル | ④ フルダラ静注用 50mg | 骨髄異形成症候群における同種造血幹細胞移植の前治療 |
| | 免疫刺激剤／コニー増殖因子 | フィルグラスチム（遺伝子組換え） | ④ グランシリンジ 75、シリンジ 150、シリンジ M300、注射液 75、注射液 150、注射液 M300 | 骨髄異形成症候群、再生不良性貧血に伴う好中球減少症 |
| | | レノグラスチム（遺伝子組換え） | ④ ノイトロジン注 50µg、注 100µg、注 250µg | 骨髄異形成症候群、再生不良性貧血、免疫抑制療法（腎移植）に伴う好中球減少症 |
| | その他の抗悪性腫瘍剤／免疫調節剤 | レナリドミド水和物 | ④ レプラミドカプセル 5mg | 5番染色体長腕部欠失に伴う骨髄異形成症候群 |

承認品目全データの提供

承認品目、承認年月日、承認申請時の会社名がひと目でわかる医薬品の製造（輸入）承認データをご提供いたします。データは1931年～2011年12月までの81年間の医療用医薬品を対象としています。自社商品の承認情報の管理など、この機会に是非ご利用ください。

- データ形式 カンマ区切りテキストデータ（csv）
- 価 格 会員：31,500円（税込） 非会員：52,500円（税込）

お問合せ先：事務局 業務・渉外担当（TEL：0120-181-276）

「JAPIC AERS」スポットサービスを開始

◆JAPIC AERSスポットサービスのご案内

JAPICでは米国FDAの有害事象自発報告システムによって集積されたデータをもとに、「JAPIC AERS」サービスを行っています。JAPIC AERSサービスは整備されたデータのご提供と、このデータを使用してシグナル検出を行い、結果をご提供するものです。現在のサービスは主に年間を通じて更新毎にデータをお送りするものですが、単発的にAERSで調べたいというご要望にお応えする形で「JAPIC AERS」スポットサービスを4月から開始いたしました。

サービス内容は、医薬品名の設定方法、報告者のレベル等ご要望をお伺いしてJAPICでシグナル検出を行い、この結果をビューアとともにご提供いたします。1回単位の料金ですので気軽にご利用いただけます。料金は1回50,000円（税抜）です。この機会に是非JAPIC AERSをご利用いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先：開発企画担当（TEL：03-5466-1837 Mail：kaiatsu@japic.or.jp）

平成24年度JAPIC主催 講演会等 開催予定

| 講演会名称 | 開 催 日 | 開 催 場 所 |
|---------------------|--------------------|-------------|
| JAPICユーザ会（東京） | 平成24年6月14日（木） | 長井記念ホール |
| JAPICユーザ会（大阪） | 平成24年6月19日（火） | 大阪ブリーゼプラザ8F |
| 第138回薬事研究会 | 平成24年7月3日（火） | 長井記念ホール |
| 第139回薬事研究会 | 平成24年12月予定 | 未定 |
| JAPIC-Qユーザ会（東京）（大阪） | 平成24年秋開催予定 | 未定 |
| 平成24年度JAPIC講演会 | 平成24年12月19日（水） | 長井記念ホール |
| 第41回JAPIC医薬情報講座 | 平成25年3月4日（月）～5日（火） | 長井記念ホール |

「理事会」「評議員会」の概要報告

3月12日（月）に平成23年度第2回評議員会、14日（水）に平成23年度第3回理事会を開催いたしました。議題と主な内容は以下のとおりであり、すべて原案どおり承認・議決されました。今回の主な議題でありました平成24年度事業計画・収支予算についても承認議決されましたので、会員の皆様にご参考にしていただくため、事業計画を先般ご送付いたしました。

財団法人としては最後となる理事会・評議員会でしたが、お陰様で恙なく終了することが出来ましたことをご報告申し上げます。

○「平成23年度第2回（通算第31回）評議員会」

3月12日（月）15:00～16:30 経団連会館4階会議室

《議題》

1. 平成23年度事業報告及び収支状況報告について
2. 平成24年度事業計画（案）について
3. 平成24年度収支予算（案）について
4. 報告事項
 - (1) 一般財団法人への移行関連事項について
 - (2) 維持会員及び賛助会員の異動について

○「平成23年度第3回（通算第120回）理事会」

3月14日（水）15:00～16:30 経団連会館5階会議室

《議題》

1. 維持会員の異動承認について
2. 平成23年度事業報告及び収支状況報告について
3. 平成24年度事業計画（案）について
4. 平成24年度収支予算（案）について
5. 報告事項
 - (1) 一般財団法人への移行関連事項について

新潟薬科大学でのiyakuSearch検索実習を終えて

平成24年3月8日（木）に新潟薬科大学図書館白鳥事務長の依頼により、JAPIC医薬品情報データベースiyakuSearchの検索実習を実施いたしました。

当日は希望者約20名が情報実習室に集まり、90分の講義時間でJAPIC職員が講師となり、iyakuSearchの概要の説明後、検索例題を通して3コンテンツ（添付文書・医薬文献・学会演題情報）のデータベースを検索してもらいました。

検索例題は抗甲状腺薬の副作用やジェネリック医薬品など最近の話題を取り扱い、実際に検索することで特徴を理解してもらいました。また臨床試験情報（JAPIC CTI）について質問があり、より詳しい紹介をいたしました。添付文書・医薬文献・学会演題情報以外のコンテンツにも興味を持っていただけたようで、実習の成果を感じました。今後も継続して本データベースを有効にご利用いただけることを願っております。



（伊藤）

❖ JAPICサービスの紹介 ❖

JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版CD-ROM

◆特長

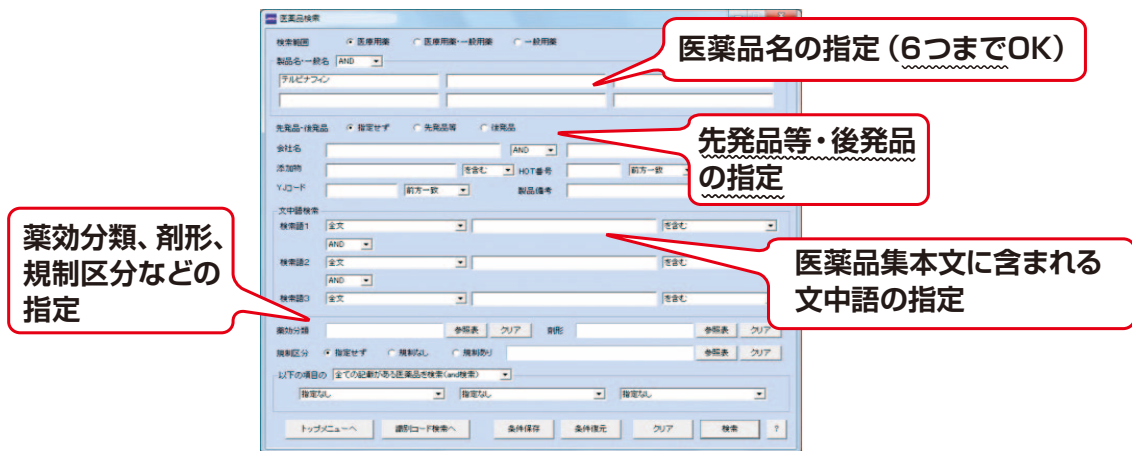
- 本製品は、医療用・一般用医薬品集の両データに、薬価データ等を追加収録したCD-ROMです。
- 医薬品の添付文書情報、薬価、識別コード情報等の検索・閲覧・データ出力等にご利用いただけます。
- ・年4回発行（原則として4月・7月・10月・1月）
- ・価格は単品で¥15,000（税込）。年間セット（4月・7月・10月・1月）で¥25,000（税込）。

◆機能のご紹介（~~~~下線部分：2012年4月版からの改良点）

1. 医薬品をあらゆる条件で検索

製品名・一般名（成分名）に加えて、識別コード*、先発品等/後発品の区別*、添加物、医薬品集本文の文中語、薬効分類、剤形、規制区分等からの検索が可能です。

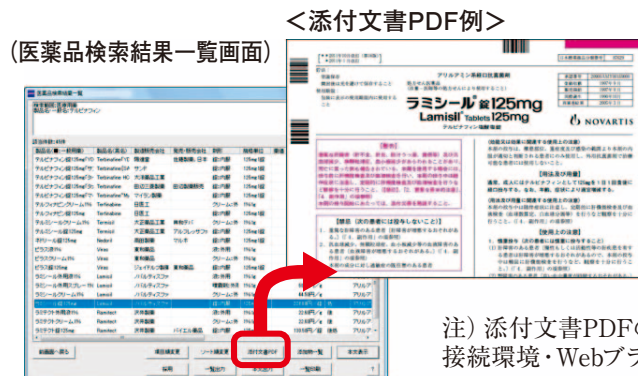
（医薬品検索画面）



※：医療用薬のみの機能

2. 検索した医薬品の製品一覧、添付文書PDFの表示

検索でヒットした医療用薬・一般用薬の添付文書PDFを、JAPICの医薬品情報データベース「iyakuSearch」（医療用薬：週1回更新、一般用薬：月1回更新）を経由して表示することが可能です。



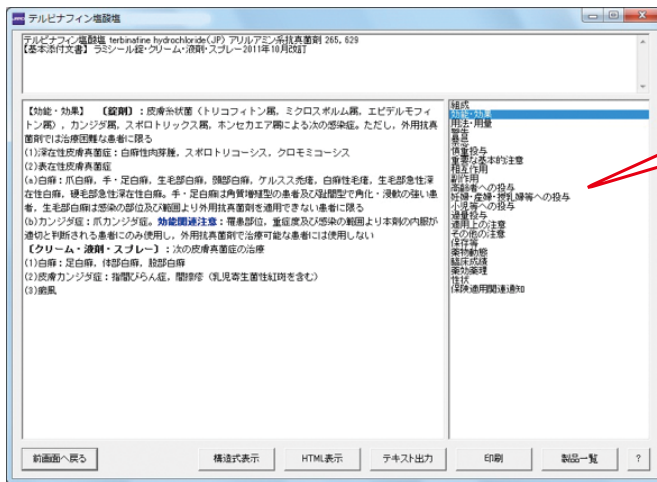
注) 添付文書PDFの表示には、インターネット接続環境・Webブラウザが必要となります。

3. 医薬品集本文データの表示

医薬品集本文画面では、医薬品に対する各項目（効能効果、用法用量、警告、禁忌、副作用等）の本文データを切り替えて表示することができます。また、構造式の表示も可能です。

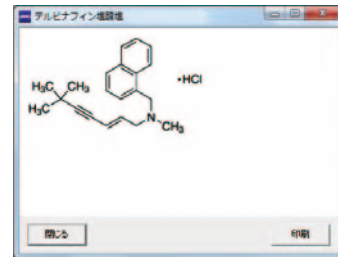
よく参照する項目がある場合は、最初に表示させたい項目の設定*ができます。

(医薬品集本文画面)



各項目を切り替えて、医薬品集本文データを表示

(構造式表示画面)



※：医療用薬のみの機能

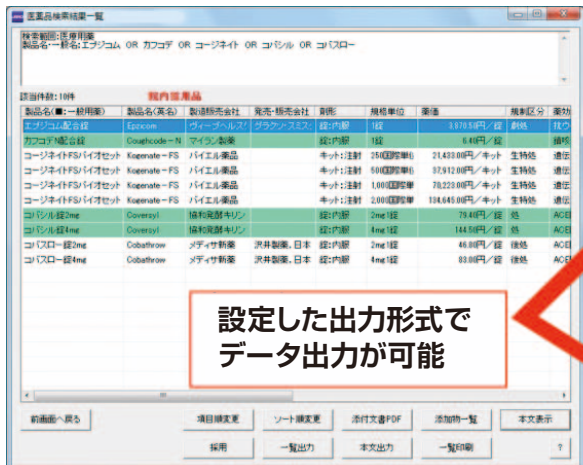
4. 製品の一覧、医薬品集本文データの出力・印刷

検索した製品の一覧（製品名、会社名、一般名、剤形、規制、薬価等）、医薬品集本文データ（効能効果、用法用量、使用上の注意等）等のデータ出力・印刷が可能です。

データの出力様式は、タブ区切りテキスト／カンマ区切りテキスト (csv) 形式から選択して設定できます。

例) 検索した製品の一覧をデータ出力する場合

(医薬品検索結果一覧画面)



設定した出力形式で
データ出力が可能

<タブ区切りテキスト形式>

```
院内採用状況 製品名(■：一般用薬) 製品
院内採用品 エプジコム配合錠 Epz
院内採用品 カフコデN配合錠 Coughcode-N
コージネイトFS/バイオセット注250 Kog
コージネイトFS/バイオセット注500 Kog
コージネイトFS/バイオセット注1000 Kd
コージネイトFS/バイオセット注2000 Kd
院内採用品 コバシル錠2mg Coversyl
院内採用品 コバシル錠4mg Coversyl
コバスロー錠2mg Cobathrow メテ
コバスロー錠4mg Cobathrow メテ
```

<カンマ区切りテキスト形式>

```
"院内採用状況","製品名(■：一般用薬)","
","エプジコム配合錠","Epzicom","ブイープ
院内採用品","カフコデN配合錠","Coughcode
","コージネイトFS/バイオセット注250","Kog
","コージネイトFS/バイオセット注500","Kog
","コージネイトFS/バイオセット注1000","Kd
","コージネイトFS/バイオセット注2000","Kd
院内採用品","コバシル錠2mg","Coversyl","
院内採用品","コバシル錠4mg","Coversyl","
","コバスロー錠2mg","Cobathrow","メティ
","コバスロー錠4mg","Cobathrow","メティ
```

最近の話題

地域医療情報研究開発機構 (CHIRD) の活動

岐阜大学大学院 医学系研究科 医療情報学分野 教授
紀ノ定 保臣 (Kinosada Yasutomi)



少子高齢化に伴い、我が国は人口の減少と高齢者比率の高止まりが懸念されている。また、経済状況の厳しさだけでなく、スマートフォンやiPadに代表されるような最新の情報通信機器が経済活動の在り方に大きな影響を与えている。まさに、社会の構造が大きく変化しつつあると言える。同様に、医療機関を取り巻く環境も類似の変化を提示している。すなわち、診療所で勤務される先生方ご自身の高齢化や医療機関における経営状況の厳しさ、従前の“病診連携”から“医療・介護・在宅を中心とした地域医療連携”へと広域多施設連携システムの構築と運用の重要性が増しており、様々な情報通信機器の活用と、社会の構造変化に対応した新しい地域医療の在り方が問われていると言える。

本稿では平成23年8月に新しく創設した“一般社団法人 地域医療情報研究開発機構 (CHIRD)”を紹介する。CHIRD (Community Health Information Research and Development organization) は地域医療の課題解決に必要な医療需要と医療供給についての現状分析を通して、地域医療情報に基づいた“適正な地域医療体制づくりの支援”を目指している。さらに、集積された保健・医療・介護情報等の統合と革新的な有効利用を通して、地域医療の詳細な現状分析を行い、さらにこれらの分析結果を地図情報 (GIS) 化することにより、地域医療の現在の実態を見える化したいと考えている。

CHIRDはこのような活動を通して、また行政および保健・医療・介護施設等がCHIRDの提供する地域医療実態分析結果を地域医療計画の策定や各医療機関の経営改善に活用していただくことにより、地域の医療・介護・

在宅連携の推進、時代の変化にマッチしたより良い地域医療提供体制の構築に貢献したいと希望している。

CHIRD誕生までの経緯

2009年に自治医科大学地域医療学センターが中心となって群馬県をモデル地域とした地域医療情報の集積を始めた。また、集積したデータを地域医療データバンクとして構築・運用を開始した。これら地域医療情報から当該地区における医療実態の解析を実施し、医療の効率化を推進するための方策の検討を開始した。レセプト情報、人口動態データ、地図情報を活用して、地域ごとの疾病受療率や人口推計、患者の移動距離、医療機関ごとの患者シェアなど地域医療の実態を明らかにした。このような自治医科大学地域医療学センターの真摯な取り組みは、地域医療を支える自治医科大学のミッションそのものであると同時に、広く社会からも望まれている活動であった。一方、このような活動の成果が広く社会から支持されるにつれ、より公益性を持った社会還元型の活動に対するニーズが高まり、多くの地方自治体や医療機関で勤務する者達への人材育成を目的とした活動なども求められるようになった。この社会ニーズに応える形で設立された組織がCHIRDである。

CHIRDの活動

地域医療情報等の収集に協力を頂ける地域ごとに、地域別・疾病分類別・年齢階層別等の医療ニーズを推定する。また、患者の医療機関までの移動距離とその負担の評価、医療機関ごとの診療機能分類、地域ごとの患者シェアと医療リソースを分析する。その後、地図情報システム (GIS) を用いてこれら結果を複合データとして可

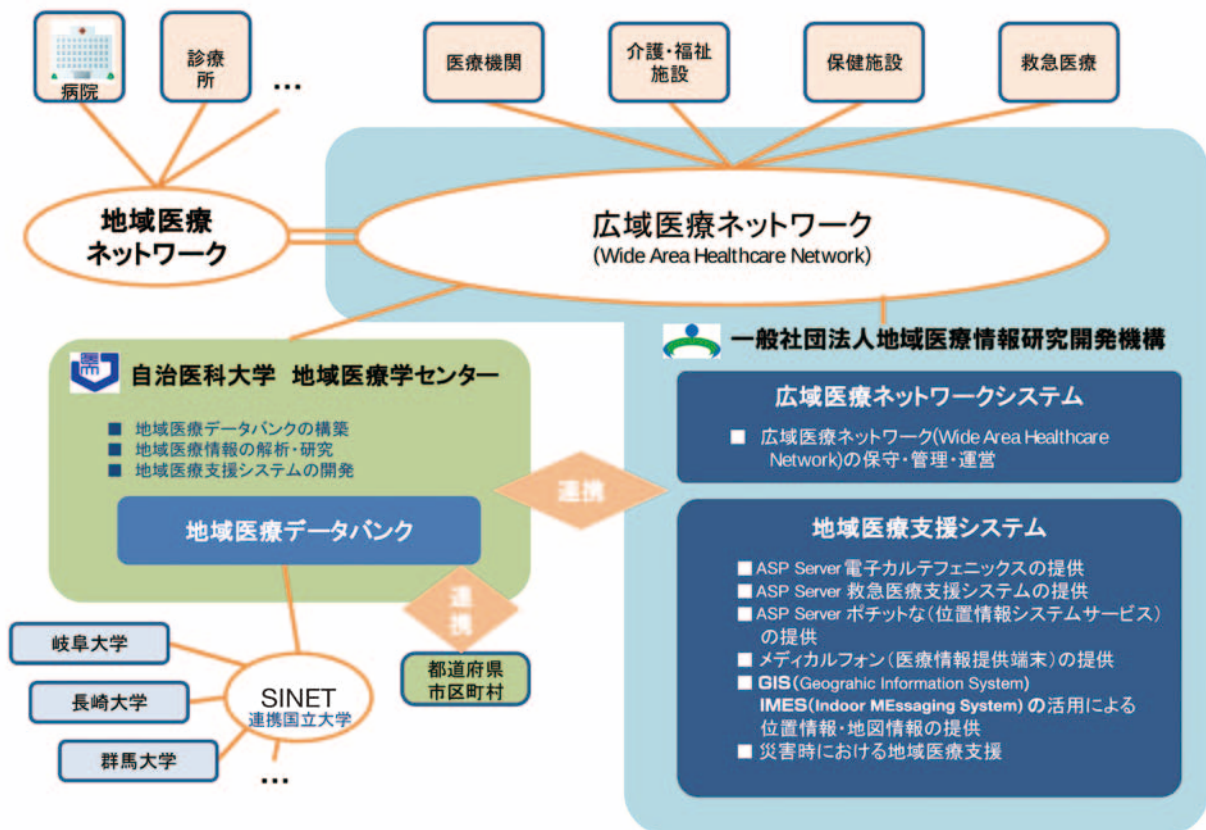
視化し、各地域における医療の効率化に役立つ効果的な医療提供の戦略策定とこのような一連のデータ解析技術を習得した人材の育成を目指そうというものである。

CHIRDは、地域医療データバンクの構築のみならず、協力医療機関や自治体などと連携し、大規模災害時等に迅速・効果的に展開可能なASP型電子カルテシステムや救急医療支援システム、在宅支援システムなどをクラウドサービスとして提供する準備も始めている。対象は協力医療機関、介護サービス事業者、消防本部などである。

CHIRDは地域医療の課題解決に必要な医療需要と医療供給についての現状分析を通して、地域医療情報に基づいた「適正な地域医療体制づくりの支援」を目指します。主な活動内容は以下のとおりです。

- 1 地域医療情報に関する学術研究活動の促進
- 2 地域医療の需要・供給体制の分析
- 3 地域医療情報化に関する支援
- 4 地域医療情報に関する教育及び研修活動
- 5 学術雑誌及び学術図書等の刊行
- 6 定期学術集会、研究会、講演会等の開催
- 7 国内外の関連諸学会、各種団体等との交流並びに協力活動

是非、今後のCHIRDの活動にご理解、ご支援ご協力をお願いしたい。



会員の声



余暇と明日のエネルギー

トーアエイヨー株式会社 経営企画部

角田 範子 (Kakuta Noriko)

<私の仕事>

私の勤務するトーアエイヨーは、約70年の歴史を持つ医療用医薬品メーカーです。以前は「東亜栄養」という漢字表記の社名でビタミン剤を主要製品としていました。現在は、国内初の狭心症貼付薬「フランドルテープ」、狭心症発作寛解薬「ミオコールスプレー」等、心臓薬を中心とする循環器系に特化した医薬品メーカーです。私は、患者さんの疾病治療に不可欠で医療現場のニーズに合った製品を開発企画する部門に所属しています。

<JAPICの利用>

JAPICとのおつきあいはかれこれ数十年になります。入社後間もなくから、渋谷の長井記念館にあるJAPIC図書館に足繁く通って書籍を閲覧したり、資料入手方法について電話で教えを乞いました。近年は主に、JAPICホームページから入る「JAPIC医薬品情報ナビ」のリンク集での海外添付文書検索や、iyakuSearch（医薬品情報データベース）を使った国内医薬品文献検索により医薬品の有効性・安全性について調べています。海外添付文書情報を利用すると、ある一つの医薬品（一般名）に関する国毎の添付文書情報が一括して得られるため、書籍から得られるものより比較が容易で助かります。また冊子体JAPIC Pharma Report（海外医薬情報）には、主要海外雑誌からの時宜を得た医薬品情報が日本語で収録されているので、和文抄録を参照しつつ、LANCET、New England Journal of Medicine、JAMAなど、海外医学雑誌の原論文に記載された医薬品を調べるのにとっても重宝しています。

<私の楽しみ>

私は、機会ある毎に海外の方と交流して、文化の違いを楽しんでいます。ドイツ語会話の勉強のために入会した日独協会でしたが、いつの間にかドイツ人学生のホストファミリーになっていました。海外医薬品の包装やお薬の色がとてもカラフルなように、彼らの服装の色の好みや生活様式も多様です。そういう多様性を学びつつ、日本

に関する色々な質問には丁寧にこたえるようにしています。時には「1泊だと京都と奈良とどちらに行けばよいと思う？」等の相談を受けるため、一人前のツアーコンダクターになったつもりで、日本国内の旅事情や関連情報を集めています。周りの旅の達人とも相談しながら、手作りの旅程を作ってあげるととても喜ばれます。

「誕生日に富士山のご来光を見たい」という希望に応えるために、それまで興味のなかった富士登山までしてしまいました。逆に彼らから学ぶ日本の風物もあります。御朱印帳を旅の記念に持参していた方に刺激されて、私も今では御朱印を頂くようになってしまったのです。彼らとは、今でもメールを交換しています。

もう一つの趣味は山登りです。母校の山岳会に所属し、年に数回は山登りを楽しんでいます。今まで登った山は、北海道では利尻山、函館駒ヶ岳、大雪山から、九州では開聞岳、韓国岳、宮之浦岳など全国にまがります。

山岳会OBには植物に詳しい人が多く、数年前には山岳会顧問であった恩師が遺された標本の整理にボランティアの一員として参加し、いろいろな植物の学名に触れることができました。登山道で見かける山野草の名前や、周りに見える山の名前は、なかなか覚えられないのですが、山仲間が撮影した写真がWeb上のアルバムに常設展示されるのを見るのは楽しいものです。

昨年からは、山行計画立案者の一員になったこともあり、二万五千分の一の地図とのにらめっこ、天気予報のチェックなど、慣れないことにも挑戦して、参加者が安全に山登りを楽しめるように努力しています。山頂での澄んだ空気と樹木の香りに加え、下山後の“温泉と一杯”は至福の時です。

<おわりに>

仕事、家事、育児、介護など多忙な中で、余暇を楽しむことが明日のエネルギー源になることを再認識しています。今後も好奇心の赴くままに、触手を伸ばしていきたいと思っています。

JAPIC新入職員紹介



事務局業務渉外担当
田子 友里恵
(Tago Yurie)

4月よりJAPICでお世話になっております。

私は早稲田大学の国際教養学部を卒業しました。専攻は政治学です。

大学時代にアイルランドに留学へ行った際に、現在のアメリカに居る白人の多くがアイリッシュ系であることを知りました。そのことがきっかけでアメリカ政治に興味を持ち、アメリカの移民問題についての卒業論文を書きました。大学で薬学を学んだことはありませんが、仕事を通して知識を吸収していきたいです。

私は旅行に行く事が大好きです。大学時代には11カ国を旅しました。けれどももっと多くの国々を旅できたらと思います。また、海外だけでなく、国内旅行にも行きたいです。美味しいものを食べることも好きなので、様々な国や地域の料理を食べ歩きたいです。食べる専門になるだけでなく、自分で美味しい料理の味を再現出来たらと思います。これから、仕事を通して多くのことを学んでいけたらと思います。至らないところが沢山あるとは思いますが、努力を積み重ねていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



医薬文献情報担当 (海外)
島田 桃子
(Shimada Momoko)

4月からお世話になっております島田桃子です。

昨年インターンシップに参加させて頂き、JAPICの業務を知ることができました。医薬品の副作用が問題となることは多いですが、実際に私の身内でも治療薬による副作用で入院に至ったことがあり、その危険性を強く感じることがありました。医薬品情報の伝達という、なくてはならない大切な仕事に携わることができるのは、本当に光栄なことだと思っております。採用して頂き、JAPICの一員として働けることをとても嬉しく思います。大学ではエラスチンと糖尿病の関係性について研究しました。趣味は料理です。料理といってもメインディッシュではなく、副菜のひじきの煮物、きんぴら、お味噌汁などが専ら私の担当です。社会人一年生で不慣れなことばかりですが、皆様にご指導頂き早くJAPICに相応しい職員になれるよう努めたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。



医薬文献情報担当 (国内)
柏 志保
(Kashiwa Shiho)

4月よりJAPICでお世話になっております。明治薬科大学の薬学部6年制課程を卒業致しました。大学では医療現場や治験施設において実習を行う機会があり、そこで医薬品の安全性情報がどのように集められるかということに関心を持ちました。医薬品に関するあらゆる情報に携われるJAPICで働く希望が叶い、気を引き締めて臨みたいと思っております。至らない点が多々あることと存じますが、日々向上を心掛け早く皆様のお役に立てるよう頑張ります。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より – (抜粋)

2012年3月1日～3月30日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.342-346)の記事から抜粋

■米FDA

- statinsとHIVまたはC型肝炎治療薬のDrug Safety Communication: 相互作用による筋障害のリスク増加について
<<http://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm294294.htm>>
- Cardiac ScienceのPowerheart、CardioVive、CardioLife; GEのResponder、Responder Pro; Nihon-KohdenのAEDs: Class I回収; 部品に欠陥があるため
<<http://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm294538.htm>>
- 非経口vancomycin製品の品質に関する米FDAの声明
<<http://www.fda.gov/Drugs/DrugSafety/ucm295414.htm>>

■Health Canada

- Domperidone Maleate: 重篤な異常心拍および突然死(心停止)との関連性について—Tevaおよびその他のdomperidone製造会社
<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/alt_formats/pdf/medeff/advisories-avis/prof/2012/domperidone_hpc-cps-eng.pdf>
- 重症筋無力症患者におけるfluoroquinolone系抗生物質(AVELOX、CIPRO、CIPRO XL、LEVAQUIN)に関連した重症筋無力症症状の悪化
<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/alt_formats/pdf/medeff/advisories-avis/prof/2012/fluoroquinolone_hpc-cps-eng.pdf>
- Finasteride (Proscar、Propecia) およびdutasteride (Avodart、Jalyn): 悪性度の高い前立腺癌のリスクを増加させる可能性について
<http://www.hc-sc.gc.ca/ahc-asc/media/advisories-avis/_2012/2012_38-eng.php>
- Pradax (dabigatran etexilate): 腎機能評価、および特定の心臓弁疾患患者/人工心臓弁使用患者への使用に関する表示改訂(新たな勧告の追加)
<http://www.hc-sc.gc.ca/dhp-mps/alt_formats/pdf/medeff/advisories-avis/prof/2012/pradax_hpc-cps-eng.pdf>

■独BfArM

- orlistat: RL 2001/83/EGのArt.31に基づくリスク評価; 肝毒性に関する有害事象報告などについて
<<http://www.bfarm.de/DE/Pharmakovigilanz/stufenplanverf/Liste/stp-orlistat.html>>
- Halaven (eribulin) に関する情報: 投薬過誤のリスクについて
<<http://www.bfarm.de/DE/Pharmakovigilanz/risikoinfo/2012/info-halaven.html>>
- Perfalgan 10mg/mL注射液(paracetamol静注)のRote-Hand-Brief: 意図しない過量投与のリスクについて
<<http://www.bfarm.de/DE/Pharmakovigilanz/risikoinfo/2012/rhb-perfalgan.html>>
- Samsca (tolvaptan) のRote-Hand-Brief: 血清ナトリウム濃度の急激な上昇のリスクについて
<<http://www.bfarm.de/DE/Pharmakovigilanz/risikoinfo/2012/rhb-samsca.html>>

■仏Afssaps

- Halaven (eribulin) の投薬過誤リスクについて: 医療専門家向けレター
<<http://www.afssaps.fr/content/download/40119/522925/version/1/file/lp-120308-Halaven.pdf>>
- Victrelis (boceprevir) とritonavirブーストHIVプロテアーゼ阻害剤の薬物相互作用: 医療専門家向けレター
<<http://www.afssaps.fr/content/download/40198/523901/version/1/file/lp-120309Victrelis.pdf>>
- Nicorandilと重篤な潰瘍について: 医療専門家向けレター
<<http://www.afssaps.fr/content/download/40452/527139/version/1/file/lp-120320-Nicorandil.pdf>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報(海外)担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<http://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供を御希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

【新着資料案内 平成24年2月22日～平成24年3月21日受け入れ】

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。この情報は附属図書館の蔵書検索 (<http://www.libblabo.jp/japic/home32.stm>) の図書新着案内でもご覧頂けます。これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越し下さい。

〈配列は書名のアルファベット順、五十音順〉

| 書名 | 著編者 | 出版者 | 出版年月 |
|--|--|-------------------|----------|
| 一般用医薬品添付文書作成の手引き | 古澤康秀、望月眞弓 監修 | じほう | 2012年1月 |
| 医薬品承認申請ガイドブック2011-12 | 日本薬剤師研修センター 編 | 薬事日報社 | 2011年12月 |
| 医薬品-食品相互作用ハンドブック 第2版 | Joseph I. Boullatan、 Vincent T. Armenti 著 | 丸善出版 | 2011年12月 |
| 治療薬ハンドブック～薬剤選択と処方のポイント2012 | 堀 正二 他 編 | じほう | 2012年1月 |
| 日本の医薬品構造式集 2012 | 日本医薬情報センター 編 | 日本医薬情報センター | 2012年4月 |
| 日本泌尿器科学会創立百周年記念「泌尿器科とわたし」体験手記・エッセー 受賞作品集 | | 日本泌尿器科学会 | 2012年3月 |
| ハイリスク治療薬～コンパクト医薬品情報集2012 | 松山賢治、阿南節子 監修 | じほう | 2012年1月 |
| Data Book 2012 | 日本製薬工業協会 広報委員会 編 | 医薬出版センター | 2012年2月 |
| European Pharmacopoeia 7th edition Supplement 7.5 | Council of Europe | Council of Europe | 2012年1月 |
| GCPハンディ資料集 改訂7版 | | エルゼビア・ジャパン | 2011年12月 |
| International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems, ICD-10: 10th Revision 2010 Edition | World Health Organization | WHO | 2011年12月 |
| JAID/JSC 感染症治療ガイド 2011 | JAID/JSC 感染症治療ガイド 委員会 編 | 日本感染症学会 | 2012年3月 |
| JAPIC医療用医薬品集 普及新版 2012 | 日本医薬情報センター 編 | 日本医薬情報センター | 2012年3月 |
| PDR 33 ed. 2012-PDR for Nonprescription Drugs | PDR Network, LLC | PDR Network, LLC | 2011年 |
| ViDAL Recos 2012 | ViDAL | Vidal | 2011年4月 |

情報提供一覧

【平成24年4月1日～4月30日提供】

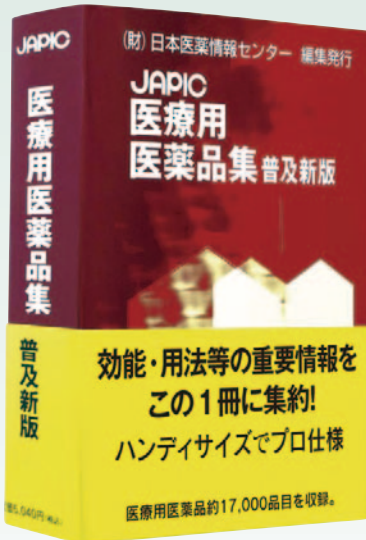
出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は当センター事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせ下さい。

| 情報提供一覧 | 発行日等 | JAPIC作成の医薬品情報データベース | 更新 |
|---|-----------|----------------------------------|---|
| 〈出版物・CD-ROM等〉 | | 〈iyakuSearch〉 Free | http://database.japic.or.jp/ |
| 1. [JAPIC Pharma Report-海外医薬情報] | 4月6日 | 1. 医薬文献情報 | 月 1 回 |
| 2. [添付文書入手一覧] 2012年3月分 (HP定期更新情報掲載) | 4月6日 | 2. 学会演題情報 | 月 1 回 |
| 3. [JAPIC NEWS] No.337 5月号 | 4月27日 | 3. 医療用医薬品添付文書情報 | 毎 週 |
| 〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (FAX、郵送、電子メール等で提供) | | 4. 一般用医薬品添付文書情報 | 月 1 回 |
| 1. [JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報] No.826-829 (旧: 医薬関連情報速報FAXサービス) | 毎 週 | 5. 臨床試験情報 | 随 時 |
| 2. [医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)] | 毎 週 | 6. 日本の新薬 | 随 時 |
| 3. [JAPIC-Q Plusサービス] | 毎月第一水曜日 | 7. 学会開催情報 | 月 2 回 |
| 4. [外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)] No.2645-2664 | 毎 日 | 8. 医薬品類似名称検索 | 随 時 |
| 5. [JAPIC Weekly News] No.346-349 | 毎週木曜日 | 9. 効能効果の対応標準病名 | 月 1 回 |
| 6. [Regulations View Web版] No.236-237 | 4月13日・27日 | 〈iyakuSearchPlus〉 | http://database.japic.or.jp/nw/index |
| 7. [感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)] No.436-439 | 毎週月曜日 | 1. 医薬文献情報プラス | 月 1 回 |
| 8. [PubMed代行検索サービス] | 毎月第一・三水曜日 | 2. 学会演題情報プラス | 月 1 回 |
| 9. [JAPIC医療用医薬品集2012] 更新情報2012年4月版 | 4月27日 | 3. JAPIC Daily Mail DB | 毎 日 |
| | | 4. Regulations View DB (要:ID/PW) | 月 2 回 |
| | | 外部機関から提供しているJAPICデータベース | |
| | | 〈JIP e-infoStreamから提供〉 | https://e-infostream.com/ |
| | | 〈JST JDream II から提供〉 | http://pr.jst.go.jp/jdream2/ |

医療用医薬品集

普及新版2012

2012年
3月発行



本書は「JAPIC医療用医薬品集(B5判 約3,400頁)」をもとに臨床の場で利用される際に必要な項目を選択し、取り扱いやすく、持ち運びに便利なちょっと大きめのポケットサイズ(A5判)に再構成したものです。成分ごとに添付文書記載の効能・効果、用法・用量、禁忌、警告、使用上の注意等、及び半減期情報等を記載。

約2,100成分、約17,000製品の医療用医薬品情報を2012年1月時点の最新情報で収録。

■掲載内容

- ◎一般名、製品名
- ◎承認日(一部製品)
- ◎組成(規格)
- ◎効能・効果、用法・用量
- ◎警告
- ◎禁忌、原則禁忌
- ◎慎重投与
- ◎重要な基本的注意
- ◎相互作用(併用禁忌・併用注意)
- ◎副作用
- ◎高齢者への投与
- ◎妊婦・産婦・授乳婦等
- ◎小児への投与
- ◎臨床検査結果に及ぼす影響

価格：**5,040**円(税込)

A5判／約1,600頁

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行 ☎ 0120-181-276

丸善出版株式会社 発売 TEL 03-6367-6038

上記書籍の他、電子カルテやオーダリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。

Garden

ガーデン

このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

さんかよう

日本海側に多く、山の雪解けを待って一斉に生育して5月頃に咲く。成分としてメギ科の近縁種ポドフィルム根(局方)と同じ抗腫瘍活性を持つポドフィロトキシン(中国名 鬼臼素)が知られる。これを先導化合物として抗がん剤のエトボサイドが開発

された。新潟県巻機山付近にて

(ky)



JAPICホームページより
<http://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。